

# ⑪ 茶の道・おもてなしの心

昭和47年に「茶道裏千家淡交会」に入門し、今年で47年になります。

裏千家淡交会筑豊支部 徒たちは自ら製作した直方おみの会を結成。茶碗で卒業記念の茶会「直方文化連盟」にも加入、同連盟の主催行事では、表千家と交代で高取焼を広く知ってもらおうと、地元商店

## 地域と共生

日本鉄道OB会

この間のことを振り返りますと、JR九州箱崎駅在職の時、本社から民営化1周年記念行事を催すよう指示があり、駅前広場で制服・制帽でお手前、お客さまに「おもてなし」している写真が地元新聞に掲載されたことを思い出しました。

茶会を開催しました。福岡県直方市は高取焼発祥の地であり、「古高取を伝える会」が毎年、市内の小学6年生を対象に茶碗作りを指導しています。生

9月に傘寿を迎え、この心も茶道の精神「和敬清寂」を心に、一期一会を大切に精進し、おもてなしの心を育むように努めていきます。(九州鉄道OB会門司地方本部直方支部・久保修一、80)



茶道の精神について語りかける久保さん(左)

# ⑫ バランストンボ

今から14〜15年前でしようか。「バランストンボ作成の講習会」の新聞記事が目が止まったのがきっかけでした。

手づくりのトンボが竹ひごの上で、微妙なバランスをとりながら止まっている。胴体を支点として、頭を上げるし、下はひごを、ゆるやかに魅せられました。

自分なりの改良を加えて、「ゆらり竹とんぼ」と命名し、地元敬老会などでのイベント時にその愛らしさを紹

## 地域と共生

日本鉄道OB会

た。

雪国・新潟では、とりわけ冬になると、外で遊ぶことが少なくな

ります。そのような時には地元NPO法人などが主催するイベントに足を運び、「ゆらり



子どもたちに工作の魅力を伝える長井さん(左)

た昆虫づくりにも興味があります。ノコギリ、小刀を使って何かを作っている時が一番楽しい。後継

者を探している後期高齢者です。(東日本鉄道OB会新潟地方本部新津支部・長井登、75)